

オイルステイン+クリヤラッカー塗り (OS+CL)

1. 適用範囲

工事名：
工事場所：
施工業者：
塗装業者：
特約店名：

2. 材料

VATON^{FX} 各色 F☆☆☆☆ O01007 VATON^{FX} シーラー F☆☆☆☆ O01071
SW ラッカー型サンディング金剛 F☆☆☆☆ O01502 SW ラッカー型クリヤール金剛 F☆☆☆☆ O01503
SW ラッカー型フラット金剛 F☆☆☆☆ O01319

3. 施工部位

内装木部

※「ラッカー金剛シリーズ」のJIS規格に関するお知らせ

本品は2026年3月14日よりJIS規格の認証更新を取りやめ、社内検査規格に移行しました。
これに伴う原料・製造方法などの変更はなく、JIS規格に記載されている検査項目に対して、
実績として規格値内となっています。

4. 工程

工程	種別		塗料その他 製品名	塗付け量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)	
	A種	B種				
素地ごしらえ	○(注)1		新設時：18.2.2による、改修時：7.2.2による	—	—	
1	1回目塗り	VATON ^{FX} 各色		0.03	16時間以上	
2	ふき取り	全面白木綿布片でふき取る。		—		
3	2回目塗り	VATON ^{FX} 各色		0.03	2時間以上	
4	ふき取り	全面白木綿布片でふき取る。		—		
5	下塗り	○	○	VATON ^{FX} シーラー	0.10 (0.05)	2時間以上
6	中塗り	○	○	SW ラッカー型サンディング金剛	0.10	1時間以上
7	研磨紙ざり	○	○	研磨紙 P220~240	—	—
8	上塗り (1回目)	○	○	SW ラッカー型クリヤール金剛	0.10	2時間以上
9	研磨紙ざり	○	—	研磨紙 P240~320	—	—
10	上塗り (2回目)	○	—	SW ラッカー型クリヤール金剛又は、 SW ラッカー型フラット金剛	0.10	—

- (注) 1. 18.2.2 木部の素地ごしらえ、7.2.2 木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。
2. 改修時、新規に塗装を行う場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、7.3.2 木部の素地ごしらえを行う。
* SW はセーフティーワルツ(トルエン・キシレンフリー)の略称です。

5. 注記

- 本仕様は公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)のオイルステイン塗り(OS)及び公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)クリヤラッカー塗り(CL)に基づいた仕様です。
- 改修時、既存塗膜がある場合、表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)等を適用して下さい。
- 上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)のオイルステイン塗り(OS)及び公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)のクリヤラッカー塗り(CL)の塗付け量になります。また、工程5の数値はカタログ記載の弊社推奨値です。
工程5()の数値はカタログ記載の弊社推奨値です。(シンナーによる希釈は考慮していません)
- VATON^{FX}、VATON^{FX}シーラーは原液で使用して下さい。SW ラッカー型サンディング金剛、SW ラッカー型クリヤール金剛、SW ラッカー型フラット金剛の希釈には、SW #500 ラッカーシンナーを使用して下さい。
- 乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。
- ふき取り工程で使用したウエス等は自然発火の恐れがありますので、破棄するまで水に浸す等適切に処理して下さい。
- 工程5と6の間隔が長くなる(24時間以上)場合は研磨工程を入れて下さい。
- 製品詳細は、製品カタログやSDS等を参照して下さい。